

# 永原小学校

活動団体名： 永原小学校 4年生

活動人数： 児童8名 教員2名

取組時間： 総合的な学習の時間

## 調査内容

永原小学校では毎年「山門水源の森」で自然学習をしています。4年生は、春に大浦川の水源まで行き、地面から水がしみ出てくる様子を見ました。その水源の水が流れてくる大浦川にはどのような生き物がいるのか、水はどのくらいきれいなのかを調べるために、水生生物調査に出かけました。

調査の日は天気がよく、水生生物をたくさんとることができました。今まで、川の砂の中に生き物がいることを知らなかったのですが、意外とたくさんいました。サワガニ、ヒル、ヨシノボリ、ドンコは知っていました。でも、ヤゴやカワニナ、ガガンボは知りませんでした。これだけたくさんの生き物が大浦川の水の中で生活して命をつないでいるんだなと思いました。

さい取したあと、ハ木先生に教えてもらって種類ごとに分けました。全部で25種類いました。ヤゴだけでも7種類いて、びっくりしました。取れた生き物の種類から、大浦川の水はきれいだということがわかりました。



これからもずっと水生生物がすみやすいように、大浦川をきれいにしていきたいです。

## 活動の様子

川に入り、あみやざるで水生生物の採取をしています





# 活動の様子



採取した水生生物を  
種類ごとに分けています



たくさんの生き物が  
いました



ヨシ／ボリもいました



# 「みずすまし」調査票

学校名		永原小学校		調査地点 NO.	1
				調査参加人数	8
<b>指標生物</b> 《見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から1種類（または2種類）に●印をつけて下さい》					
I	1 カワゲラ類				
	2 ナガレトビケラ、ヤマトビケラ、クロツツビケラ類	○			
	3 ヒラタカゲロウ類				
	4 ブユ類				
	5 ヘビトンボ類	○			
	6 ガガンボ類	●			
	7 サワガニ	○			
II	8 ウズムシ類(プラナリア)				
	9 2以外のトビケラ類				
	10 3, 14以外のカゲロウ類	○			
II	11 ヒラタドロムシ類				
	12 シジミ類				
III	13 カワニナ	○			
	14 サホコカゲロウ				
	15 ヒル類	○			
	16 ミズムシ	○			
IV	17 モノアラガイ				
	18 サカマキガイ				
	19 赤いユスリカ				
IV	20 イトミミズ類				
	21 ハナアブ類				
水質 階級 の 判定	水質階級	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数	5	2	3	
	2. ●印の個数	1			
	3. 合計(1欄+2欄)	6	2	3	
この地点の水質階級は (合計の最も大きい階級)		I です			

  

調査地点の概要 《生物を採取した場所の状況について記入して下さい》	
河川名	大浦川
生物を採取した場所	山門公民館付近
	上流からみて □ 右岸 □ 中央 ■ 左岸
昨年度の調査状況	今年の調査地点は昨年度と同じですか? ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
調査日時	令和7年5月27日10時30分 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
天気	■ 晴れ □ くもり □ 雨
水温	15 °C 小数点1桁まで記入して下さい
気温	23 °C 小数点1桁まで記入して下さい
川幅	5 m 小数点1桁まで記入して下さい
水深	20 cm 採取場所の平均的な水深を記入して下さい
流速	□ 速い ■ 普通 □ 遅い (60cm/秒以上) (30cm～60cm/秒) (30cm/秒以下)
川底の状態	□ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い ■ 小石と砂 □ コンクリート □ コケ □ 砂と泥 □ 泥 □ その他 ( )
水のにおい	■ においは感じられない □ においが感じられる(ドブの不快感のあるにおい)
水のにごり	■ 透明できれい □ 少しにごっている □ にごっている □ 大変にごっている

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
クモ ヤゴ		ドンコ ヨシノボリ	
水草類		その他、気づいたこと	
ミズクサ		・ヤゴが7種類いた。 ・前日までの数日間は雨が降っておらず、川はおだやかな流れだった。水も透明だった。	
水質階級	I きれい	II 少し汚れている	III 汚れている
			IV 大変汚れている